

行番号	読んだ素材		協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
	ページ	文章	発話	日本語訳		
1					[笑う。]今ボタンを押しました。えーと、今日はA[協力者の名前]さんですね。	
2			はい、そうです。	「はい、そうです。」		
3					はい。えーと調査を始める前にちょっとお聞きしたいんですけども、いつもはコンピューターを使って、	
4			はい。	「はい。」		
5					テキストを読みますか。	
6			うん、大体コンピューターを使って、	「うん、大体コンピューターを使って、」		
7					うん。	
8			時々も電子辞書を使っています。	「時々も電子辞書を使っています。」		
9					うん、電子辞書っていうのは、日本かどこかで買ってきたの?	
10			はい、日本で。	「はい、日本で。」		
11					あ、本当。	
12			か、買いました。	「か、買いました。」		
13					あ、ちょっと待ってね、この箱が、邪魔でしょ。	
14			まあ、大丈夫だと思います。	「まあ、大丈夫だと思います。」		
15					机、置いていいですかね、コンピューター。で、テキストは、あの、なかに、いつもはプリントしないでテキスト読みますか。	
16			うーん、はい。	「うーん、はい。」		
17					コンピューター、	
18			コンピューター、	「コンピューター、」		
19					のままでいいの?	
20			で読んでる。	「で読んでる。」		
21					あ、本当。	
22			うん。	「うん。」		
23					で今日も、あの、テキストをコンピューターの画面で読んでいるね。	
24			はい。	「はい。」		
25					[笑う。][聞き取り不能]で、Aさんが選んだテキストは、これはどうやってこのテキストを見つけたの?	
26			うーん、まあ、ちょっと、あの、インターネットで、	「うーん、まあ、ちょっと、あの、インターネットで、」		
27					うん。	
28			おもしろい記事を見つけて、	「おもしろい記事を見つけて、」		
29					うん。	
30			あの、うーん、サ、サーチャーに、	「あの、うーん、サ、サーチャーに、」		
31					うん。	
32			書いて、	「書いて、」		
33					うん。	
34			そして、これを見つけた。	「そして、これを見つけた。」		
35					あ、本当。	
36			うん。	「うん。」		
37					えーと、よくインターネットでこういう記事を、記事、これはブログかな。	
38			うーん、	「うーん、」		
39					読みますか。	
40			いいえ、これは初めて、	「いいえ、これは初めて、」		
41					これ初めて?	
42			見ました。	「見ました。」		
43					あ、そう。で、インターネットで時々記事を読みますか。	
44			まあ、時々、あの、	「まあ、時々、あの、」		

45					うん。	
46			うーん、友達、友達から、	「うーん、友達、友達から」。		
47					うん。	
48			うーん、送ってくれた時と、	「うーん、送ってくれた時と」。		
49					うん、メール、それともリンク？	
50			リンク。	「リンク」。		
51					リンク、うん。で、そういうのを時々読んでる。	
52			うん。	「うん」。		
53					で、そう読む時にはネットで読んで、	
54			はい。	「はい」。		
55					で、コンピューターで調べたり、	
56			はい。	「はい」。		
57					それから、電子辞書を引いたりするんですね。	
58			そうです。	「そうです」。		
59					うん。	
60			あの、	「あの」。		
61					うん。	
62			うーん、	「うーん」。		
63					何か、あの、アドイン、	
64			あ、	「あ」。		
65					を使いますか。	
66			いいえいいえいいえ、これ、大体このDenshi Jishoと、	「いいえいいえいいえ、これ、大体このDenshi Jishoと」。		サイトは現在「Jisho.org」となっている。
67					あ、Denshi Jishoという、	
68			うん。	「うん」。		
69					サイトがあるん、	
70			はい。	「はい」。		
71					ですね、はい。	
72			これは、	「これは」。		
73					あ、Jisho.org。	
74			はい。	「はい」。		
75					はあい。	
76			よ、よく役に立つサイトです。	「よ、よく役に立つサイトです」。		
77					うん、はい、それから？	
78			まあ、大体、	「まあ、大体」。		
79					これだけですか。	
80			うん、大体これだけ。	「うん、大体これだけ」。		
81					これは？	
82			えーと、これは、	「えーと、これは」。		
83					[聞き取り不能。]	
84			うーん、時々、	「うーん、時々」。		
85					うん。	
86			英語の言葉を、	「英語の言葉を」。		
87					うん。	
88			分からない時、	「分からない時」。		
89					うん。	
90			あの、スロベニア語に訳す、	「あの、スロベニア語に訳す」。		
91					あ、えーと、PONS、	PONS(en.pons.com)という英語・スロベニア語など多言語のインターネット辞書のこと。
92			そう。	「そう」。		
93					ですね。	
94			はい。	「はい」。		
95					英語とスロベニア語の辞書のために使います。	

96			そうです。	「そうです。」	
97					はい、それでは始めましょう。
98			[笑う。]	[笑う。]	
99					[笑う。]これね。
100			はい。	「はい。」	
101					はい。じゃ、まずタイトルを、タイトルも、
102			はい。	「はい。」	
103					読んで訳しますよね。
104			はいそうですね。えーと、これはスロベニア語で、英語で、うーん、	「はいそうですね。えーと、これはスロベニア語で、英語で、うーん。」	
105					あ、じゃ、まずは日本語で、
106			あ、はい。	「あ、はい。」	
107					読んでもらっていいですか。で、そのあと、はい、そうだね。まず日本語で読んで、
108			あ、全部日本語で？OK.	「あ、全部日本語で？」分かりました。	
109					ううん、いつもAさんがするように、
110			はい。	「はい。」	
111					えーと、読んでいいんですけども、
112			はい。	「はい。」	
113					あのう、頭の中で考えてることを全部[笑う]、
114			[笑う。]	[笑う。]	
115					言いながら、
116			はい。	「はい。」	
117					あの、レポートしながら読んでください。
118			はい。	「はい。」	
119					はい。
120	AIは日本語で文章を書けるのか？ライター業の行く末について	うーん、AIは日本語で文章を書けるのか？ライター、えーと、これはたぶんAI[ライター]の「ー」を長音符号と認識せず、漢数字の「一(イチ)」と間違えた可能性がある。	「うーん、AIは日本語で文章を書けるのか？ライター、えーと、これはたぶんAI[ライター]の「ー」を長音符号と認識せず、漢数字の「一(イチ)」と間違えた可能性がある。		
121					うん。
122		ライター[今度は正しくライターと発音する]業の行く末[イクマツと発音する]について。	「ライター[今度は正しくライターと発音する]業の行く末[イクマツと発音する]について。」		
123					うん。
124		あの、これは[笑う]結構難しい。	「あの、これは[笑う]結構難しい。」		
125					うん。
126		うーん、	「うーん、」		
127					そうね、タイトルは難しいですね。ああ、そうだね。
128		ああ、この、	「ああ、この、」		
129					スロベニア語で、スロベニア語で、
130		スイッチ[日本語からスロベニア語に切り替えること]が難しい。	「スイッチ[日本語からスロベニア語に切り替えること]が難しい。」		
131					あ。
132		えーと、AIは、た[「たぶん」と言うつもりだが、途中でやめてスロベニア語に変える]、um、[笑う]najbrz.	「えーと、AIは、た[「たぶん」と言うつもりであるが、途中でやめてスロベニア語に変える]、うーん、[笑う]たぶん、		
133					たぶん、うん。
134		Najbrz, um, da, um, angleška beseda za umetno inteligenco.	たぶん、うーん、うーん、人工知能の英語訳です。		
135					うん。
136		Artificial intelligence.	AI[英語訳 (artificial intelligence) で言う]。		
137					うん。
138		Umm, da je ta arti, umetna inteligenca je v japonščini, um, ali lahko v japonščini piše stavke.	この、あのう、AIは日本語で、うーん、日本語で文章を書けるのか。		
139					うん。
140		Umm, 文章 je stavek.	うーん、「文章」は文章で、		
141					うん。
142		In 書けるのか je, umm, možnostna oblika glagola pisati, umm, ライター je najbrz, umm, angleška beseda za pisatelja.	「書けるのか」は書くという動詞の可能形で、うーん、「ライター」はたぶん、うーん、作家の英語訳です。		
143					うん。
144		業 je verjetno za poklic.	「業」はたぶん職業を意味して、		

145				うん。	
146		In, umm, 行く末[イクマツと発音する] je za iti in prihodnost.	そして、うーん、「行く末」[イクマツと発音する]は行くことと未来を意味しています。		
147				うん。	
148		Tako da verjetno gremo v to prihodnost, in to je pa o tem članek.	ですから、たぶんこの未来に向かっていているという意味で、そして、「について」は記事の話題を意味しています。		
149				うんうん。作家、どんな作家ですか。	
150		Umm,	うーん。		
151				本の作家、小説の作家、それとも、	
152		Umm,	うーん。		
153				ね、様々な作家【の表現】。	
154		はい。	「はい」。		
155				がスロベニア語にありますね。	
156		Aaa, umm,	ああ、うーん。		
157				まだ知らなかったらこのままでいいですよ。	
158		Aha.	ああ。		
159				何かアイデアがあれば言ってください。	
160		Najbrž je za romane.	たぶん小説です。		
161				うん。	
162		Predvidevam, da je za romane,	小説だと思えます。		
163				うん。	
164		Da se, da umetna inteligenca sama piše knjige v japonščini.	AIが日本語で自ら本を書くということです。		
165				うんうん、よし。	
166		OK[笑う]。	はい[笑う]。		
167				これから見ますね。	
168		はい[笑う]。	「はい」[笑う]。		
169				[笑う]。	
170		すごく変です[笑う]。	「すごく変です」[笑う]。		
171				すごく変[笑う]。	
172		はい、A、これ。	「はい」、あ、「これ」。		
173				はい。	
174	私たちライターに求められるものはいろいろありますが、基本的には「オリジナルの文章」を書くという点にその価値は集約されています。	Umm, umm, わ、umm わし、私たち、to smo mi.	うーん、うーん、「わ」、うーん、「わし」、「私たち」、これは私たちです。		
175				うん。	
176		ライター、pisatelj, mi pisatelj, に求められるもの、umm, stvari, ki jih zahtevamo, umm, はいいろいろありますが、to pomeni, da je veliko stvari, ki jih mi zahtevamo kot pisatelj, ampak, が、基本的には、umm, bistveno je, umm, オリジナルの文章, umm, オリジナルは、umm, um, angleška no, originalna[笑う]。	「ライター」はライター、私たちライター、「に求められるもの」、うーん、「私たちが」求めるもの、うーん、「はいいろいろありますが」、これはつまり私たちがライターとして求めるものが多い、が、「が」、「基本的には」、うーん、最も重要なのは、うーん、「オリジナルの文章」、うーん、「オリジナル」は、うーん、うーん、英語からの、オリジナルです[笑う]。		
r				[笑う]そうね、カタカナで書いているね。	
178		[笑う]うん、originalen, umm, stavek.	[笑う]「うん」、オリジナルな、うーん、文章です。		
179				うん。	
180		Tekst, umm, を書くという点, umm, 書く je pisati in ta točka, pač točka, o kateri pišemo, にその, umm, えーと、これは、	テキスト[文章の精義語を言う]、うーん、「を書くという点」、うーん、「書く」は書くという意味で、そして、この点、つまり、「私達ライターが」書く点、「にその」、「えーと、これは」、		
181				うん。	
182		Umm, kaj je,	うーん、何が、		
183				[聞き取り不能。]	
184		Umm, umm, to je verjetno neke vrste, umm, ocena.	うーん、うーん、これはたぶん評価みたいなものです。		
185				うん。	
186		価値[カネと発音する], to bom poiskala.	「価値」[カネと発音する]、これを調べます。		
187				うん。	
188		In najprej dam,	まずは、		
189				コピーして、	
190		Ja, in dam [[「価値」をコピーしてjisho.orgで検索する]。	はい、そして[[「価値」をコピーしてjisho.orgで検索する]。		

191				jisho.orgに、	
192			Umm, in mi je vrglo ven 価値, ki pomeni, umm, neka cena, nekaj, umm[笑う]. umm, neka vrednost.	うーん、そして出てきたのは「価値」。これは、うーん、何らかの価値、何か、うーん[笑う]、うーん、何らかの価値です。	
193					うん。
194			Tako da vrednost, umm, te točke, o kateri pišemo, は集約されています。	つまり、私たちが書くこの点の価値は、うーん、「は集約されています」。	
195					うん。
196			To je, 集[シュウと発音する] je zbrati in 約[ヤクと発音する] pomeni približno oziroma povezati.	これは、「集」は集まる、そして「約」は大体、またはつなぐという意味です。	
197					うん。
198			Bom kopirala in pregledala [「集約」をコピーしてjisho.orgで検索する].	コピーして調べます[「集約」をコピーしてjisho.orgで検索する]。	
199					確かめることですね。
200			Tako, ja[笑う].	その通りです[笑う]。	
201					うん。
202			Umm, in našlo mi je 集約, ki je intensiveness, umm, kar verjetno pomeni, umm, ne, najbrž bom pogledala še v slovenski slovar.	うーん、そして出てきたのは「集約」、集約[英語訳(intensiveness)を言う]、これはたぶん、うーん、いいえ、スロベニア語の辞書でも調べます。	
203					うん。
204			Prevedla iz angleščine v slovenščino [「intensive」をコピーしてPONSで検索する].	英語からスロベニア語に訳して[「intensive」をコピーしてPONSで検索する]。	
205					うん。
206			In našlo mi je intenzivno.	そして、集約ができました。	
207					うん。
208			Samo to, ja, samo intenzivno. OK, umm, ker je to potem v glagolu, je verjetno, da se povečuje, postaja bolj intenzivno.	これだけ、はい、集約という意味だけです。はい、うーん、これは動詞ですから、おそらく増えること、もっと集約的になることを意味しています。	
209					うん。
210			Umm,	うーん、	
211					それじゃ、文を最初から最後まで分かりましたか。
212			Mhm.	はい。	
213					うん。
214			Umm, ga prevedem celega?	うーん、文を最初から最後まで訳しますか。	
215					うーん、はい、分かったことを説明するために訳しましょう。
216			OK, Umm, čeprav je veliko točk, ne, čeprav je veliko stvari, ki jih mi kot pisatelj zahtevamo, so bistvenega pomena originalni stavki, umm, katere vrednost, umm, umm, ne katere, vrednost te točke pisanja se povečuje.	はい。うーん、私たちが作家として求める点が多い。いいえ、ものが多くても、最も重要なのはオリジナルの文章、うーん、その価値、うーん、うーん、いいえ、執筆のその点の価値が高くなっているという意味です。	
217					高まる？
218			Umm,	うーん、	
219					うん。
220			Intenz, postaja intenzivno, nekaj takega.	集、集約的になっているみたいの意味です。	
221					これが高まるんですか。
222			Umm, postaja bolj intenzivna?	うーん、もっと集約的になっている？	
223					うん。
224			Recimo, V redu[笑う]?	どう感じます。これでいいですか[笑う]。	
225					うん。
226	オリジナル、つまり今までにないものを送り出す能力というのは私たち人間の知能を持ってしてできる所業であり、機械ではできないとされてきました。		Umm, オリジナル, spet originalno.	うーん、「オリジナル」、またオリジナルが出てきました。	
227					うん。
228			つまり pomeni z drugimi besedami,	「つまり」はつまりで、	
229					うん。
230			Umm, 今までにいないもの[「ない」を「いない」と読み間違える], do sedaj stvari, ki se niso,	うーん、「今までにいないもの[「ない」を「いない」と読み間違える]」、今までまだないもの、	
231					うん。
232			Oo, umm, tega [行番号226の「送り」のこと] ne znam prebrati, ampak pomeni narediti.	おお、うーん、これ[行番号226の「送り」のこと]は読めませんが、作るという意味です。	
233					うん[笑う]。
234			[笑う.] bom kopirala v jisho.org za vsak slučaj [「送り」をコピーしてjisho.orgで検索する。] in pomeni 送り.	[笑う。]念のためjisho.orgにコピーして調べます。[「送り」をコピーしてjisho.orgで検索する。]「送り」です。	

235				うん。	
236		Dejansko, struktura, nekaj narejeno. umm. 造りだす, to sicer mogoče ni v kanji jih ampak bi pomenilo, da je, umm. 造りだす, da je nekaj dano, narejeno.	つまり、構造、造られていること。うーん、「造りだす」、これ「だす」は漢字ではないんですが、意味は、うーん、「造りだす」、何かがある、造られているということです。		
237				うん。	
238		Umm, 能力 pomeni, umm, zmožnost.	うーん、「能力」は、うーん、能力。		
239				うん。	
240		というのは私達人間の知識。umm, というのは to pomeni to je.	「というのは私達人間の知識」、うーん、「というのは」は、これはという意味です。		
241				うん。	
242		私たち, umm, mi kot 人間, ljudje, の, umm, 知識, znanje, を持ってしてきて「できる」を「きける」と読み間違える, um, ki zmoremo, umm, imeti?	「私たち」、うーん、「人間」、人間としての私たち、「の知識」、知識、「を持ってしてきて」「できる」を「きける」と読み間違える、持ってしてきて、うーん、「私たちが」持つことができる？		
243				うん。	
244		Umm, to potem je 所業[シュウギョウと発音する].	うーん、そしてこれは「所業」[シュウギョウと発音する].		
245				うん。	
246		Predvidevam, da je delo.	おそらく仕事のことです。		
247					この2つの漢字[「所業」のこと]ですね。
248		Ja.	はい。		
249				うん。	
250		Umm, predvidevam, da je to mesto dela, ampak bom za vsak slučaj pregledala.	うーん、職場だと思いますが、念のため確認します。		
251				うん。	
252		Ali je res.	そうなのか、		
253				うん。	
254		In kopiram v jisho.org[「所業」をコピーして jisho.orgで検索する], in mi je našlo 所業[シュウギョウと発音する], ki pa pomeni bolj, umm, dejanje.	jisho.orgにコピーして「所業」をコピーして jisho.orgで検索する、出てきたのは「所業」[シュウギョウと発音する]、これは行為の意味に近いです。		
255				うん。	
256		Umm, torej to pomeni dejanje, ki ga lahko naredimo kot mi ljudje.	うーん、つまり、これは私たちが人間としてできる所業という意味です。		
257				うん。	
258		Ki imamo znanje, da ga lahko naredimo. Umm, 機械 je stroj, umm, では, to pomeni, da za stroje, できない, za stroje, ki ne morejo narediti[所業], とされてきました.	「所業を」行う知識を持つものとして、うーん、「機械」は機械、うーん、「では」、これは機械にとつてという意味で、「できない」、[所業が]できない機械にとつて、「とされてきました」。		
259				うん。	
260		Umm, umm, torej, če grem cel stavek.	うーん、うーん、では文を全部訳すと、		
261				うん。	
262		Umm, ta originalnost, se pravi, umm, zmožnost tega dejanja, umm, ki ga mi kot umm, č ak, umm, ki ga do sedaj, umm, počakajte samo malo.	うーん、このオリジナリティー、つまり、うーん、この所業ができる能力、うーん、それを私たちが、うーん、ちょ、うーん、今まで、うーん、ちょっと待ってください。		
263				うん。	
264		Umm, imeti znanje za zmožnost narediti to dejanje mi kot ljudje do sedaj, umm, nismo mogli še, umm, zato za stroje, umm, ni, umm, zmožno narediti?	うーん、この所業ができるための知識、私たちが人間が今までできなかった。うーん、ですから、機械にはできないということですか。		
265				うん、じゃ機械にはできませんか。	
266		Ni, mislim za, za,	いいえ、つまり、		
267				できますか。	
268		Za storje ni.	機械にはできません。		
269				ないですか。	
270		Mislim, umm, za stroje je to nemogoče narediti.	えーと、うーん、機械には無理です。		
271				うんうん。	
272		Umm,	うーん、		
273				誰ができますか。	
274		Mislim, da,	これは、		
275				書いていますか、書いていないですか。	
276		Umm,	うーん、		
277				まだ[書いていないですか]。	
278		Piše. Mislim, piše, da za nas ljud, i umm, mislim, kakor jaz to razumem, je, da za stroje je nemogoče.	書いています、私たち人間にとつては、うーん、私が分かったのは、機械にはできないということです。		
279				うん。	

280			Narediti to, kar mi kot ljudje zmoremo.	私たち人間としてできることは[機械にできない]。	
281					うん。どこで書いていますか。
282			Umm, tako, 能力というのは私たちができる,	うーん, こう, 能力というのは私たちができる,	
283					うん。
284			機械では, pa niso še prišli do tega.	「機械では」, 「機械には」まだできません。	
285					できない, うん。
286			はい。	はい。	
287					そうです。
288	しかし現代社会ではどうでしょう。		Umm, しかし, ampak umm, 現代会社[「社会」を「会社」と読み間違える], predvidevam, da je to v modernih podjetjih, umm, 現代 je današnja doba,	うーん, 「しかし」はしかし, うーん, 「現代会社」[「社会」を「会社」と読み間違える]はおそらく現代の会社のことだと思います。「現代」は現代。	
289					うん。
290			in 社[シャと発音する], umm, ja 社会 je, umm, družba, ne podjetje.	そして「社」[シャと発音する], うーん, はい, 「社会」です, うーん, 会社ではなくて社会です。	
291					うんうん。
292			Umm, ではどうでしょうか, To je pa potem vprašanje, kako je pa za moderno družbo.	うーん, 「ではどうでしょうか」, これは質問です, 現代社会にとってはどうでしょうかと。	
293					うん, Aさんは今こう, 言葉を1つずつ読んでいますよね。
294			Mhm.	はい。	
295					「しかし」はしかし, 「現代」はこの, 現代,
296			Mhm.	はい。	
297					「社会」は会社か社会ですね, これは普通このように1つずつ読むのが, それとも文を全体読むのか, あるいはフレーズを,
298			Ponavadi, sploh če prevajam, grem besedo za besedo, da jo razumem.	普通は, 特に訳す時, 言葉を理解するために1つずつ読んでいきます。	
299					あ, 今のうちに。
300			Mhm.	はい。	
301					うんうん。
302			Potem pa poskusim povezati skupaj v celoto.	そのあと全体をまとめます。	
303					うんうん, 分かりました, こう, 一歩ずつですね。
304			Ja[笑う].	はい[笑う].	
305					そして, また一歩とその次の一歩, はい。
306			Umm,	うーん,	
307					ここはもう訳しましたか, 「しかし現代社会ではどうでしょう」。
308			Mhm.	はい。	
309					ああ。
310			Kako je pa za moderno družbo,	現代社会にとってはどう,	
311					うん。
312			社会, 社会。	「社会」, 「社会」。	
313					社会, はい。
314	Facebookや将棋の試合などでも話題になっているAIは果たして文章を書けるのでしょうか。		[笑う.]Umm, 次, Facebook, umm, ni potrebno prevesti.	[笑う.]うーん, 「次」, Facebook, うーん, 訳さなくてもいいです。	
315					うん[笑う].
316			Ja, to je pa 将[ショウと発音する], je iz prihodnosti, voditi in tega [「棋」のこと] pa ne vem, tako da bom poskusila kopirati.[「棋」をコピーしてjisho.orgで検索する.]	はい, そしてこれは将来の「将」[ショウと発音する], ひきいる, あとこれ[「棋」のこと]は読めないのてコピーします, 「棋」をコピーしてjisho.orgで検索する.]	
317					うん, 2つの漢字を一緒に。
318			Ja, in aha, mi je našlo 将棋, ki je igra, japonska igra.	はい, ああ, 「将棋」が出てきました, 遊び, 日本の遊びです。	
319					うん。
320			Podobna šahu.	チェスに似ています。	
321					知っていますか。
322			Po imenu[笑う].	名前だけです[笑う].	
323					ああ, 分かりました。
324			Umm, aha, Facebookや将棋の試合などでも,	うーん, ああ, 「Facebookや将棋の試合などでも」,	
325					うん。
326			Torej pri, za Facebook in za tekme 将棋-ja recimo, など pomeni in drugo,	つまり, Facebookと「将棋」の試合などで, 「など」はなどという意味です,	
327					うん。
328			でも je pri, recimo pri tem.	「でも」はで, ども。	

329					うん。
330			Umm, 話題 je, umm, tema pogovora.	うーん、「話題」は、うーん、話題。	
331					うん。
332			Umm, になっているAI.	うーん、「になっているAI」.	
333					うん。
334			To pomeni umetna inteligenca pri tekmah sa [チェス]. umm, 将棋-ja, は果たして[カタシテと発音する].	つまり, チェ[チェス]. 「将棋」の試合でAIは, 「は果たして[カタシテと発音する]」.	
335					うん。
336			Mislím, da je to 果たして[カタシテと発音する].	これは「果たして[カタシテと発音する]」だと思います。	
337					うん。
338			Pa bom preverila za vsak slučaj v jisho.org. [「果たして」をコピーしてjisho.orgで検索する。] in je 果たして.	念のためjisho.orgで確認します。「[果たして]」をコピーしてjisho.orgで検索する。「[果たして]」です。	
339					うん。
340			Umm, kar pomeni kot bi bilo pričakovano.	うーん, 思った通りという意味です。	
341					うん。
342			Umm, umm, 文章を書けるのでしょうか, torej za umetno inteligenco pri tekmah 将棋-ja, umm, je tema pogovora, umm, kot pričakovano, umm, mislim, ali lahko pišemo, ali lahko umetna inteligenca piše, umm, tekst, tekst o temi, umm, tekme 将棋-ja, kot bi pričakovali.	うーん, うーん, 「文章を書けるのでしょうか」, つまり, 将棋の試合のAIで, 話題となるのは予測通り, うーん, [私たちが]書けるのか, AIがテキストを書けるのか。うーん, 「将棋」の試合が話題になるテキストを予測通り書けるのか。	
343					うん。
344			Na nek način vprašanje.	ある意味で質問です。	
345					うん。
346		もしクオリティの高い作文能力を有していたらどうなるのでしょうか。	Umm, もし, umm, mogoče.	うーん, 「もし」, うーん, もし。	
347					うん。
348			Umm, クオリティの高い.	うーん, 「クオリティの高い」.	
349					うん。
350			Torej クオリティ je kvalitetno.	つまり, 「クオリティ」, クオリティのある.	
351					うん。
352			In visoko, umm, 作文[サクブと発音する], je tekst, 作文[サクブと発音する]能力, zmožnost tega, kvalitete, visoke kvalitete teksta, を有して, predvidevam da je to 「有」[ユウと発音する] iz gla, iz glagola あります.	そして, 高い, うーん, 「作文」[サクブと発音する], 「作文」[サクブと発音する]能力, これ, クオリ, クオリティ, 高いクオリティのテキストを作る能力, 「を有して」, これはおそらくありますという動詞の「有」[ユウと発音する]です。	
353					うん。
354			Imeti Ampak za vsak slučaj preverim, ali je res [jisho.orgで検索する。正確な検索語は不明。] umm, あの, し.	有る。でも念のため本当にそうなのか確認します。[jisho.orgで検索する。正確な検索語は不明。]うーん, 「あの, し」.	
355					うん。
356			Našlo mi je pa drugače.	出てきたのは違います。	
357					[笑う。]
358			Samo s kanji, umm, えーと.	漢字だけです, 「えーと」.	
359					えーと。
360			[笑う。] umm potem pa preverim, ali mi mogoče najde pod ゆうしする, oziroma če dodam h kanji samo, umm, glagol する. In je našlo.	[笑う。]うーん, あとは「ゆうしする」, または漢字[有]に「する」という動詞だけをつけて調べれば何か出るのか確認します。出ました。	
361					ああ。
362			有する。	「有する」.	
363					うん。
364			Ki pomeni pa, umm, imeti v lasti.	意味は有する。	
365					うん。
366			Tako.	そうです。	
367					よく分かりましたね, ここには「有していたら」と書いているので,
368			Ja, saj zato sem,	はい, ですから,	
369					このテ, テ, この形, テ形,
370			Mhm, zato sem, ker je naprej glagolska oblika, sem je skrajšala in spremenila v osnovno.	うん, まずは動詞の形を短くして辞書形にしました。	
371					うん。
372			In poskusila in mi je našlo.	試してみたら出てきたんです。	
373					うん。

374			Pod 有して,	「有して」で,		
375					つまり、あるという意味。	
376			有して、有して、いたら、	「有して、有して、いたら、」		
377					うん。	
378			V primeru, da ima to sposobnost, どうなるの でしょうか, kako je potem v primeru, da, umm, ima, umm, to sposobnost originalne, ne, visoke kvalitete, umm, tega dela,	この能力を有する場合、「どうなるのでしょ うか」、うーん、オリジナ、いいえ、クオリティの 高い作業【作文】を行う能力を有する場合は どうなのか。		
379					うん。誰、または何がこの知能を持ってい ますか。	
380			Predvidevam, da se še vedno nadaljuje o umetni inteligenci.	ここはまだAIの話が続いていると思います。		
381					ああ、じゃAI、うん。	
382	今回はAIの作文能力と、それがもたらすもの について解説していきます。		Tako je. Umm, 今回, tokrat, umm, はAIの作 文能力と, potem to se navezuje na prejšnji stavek.	そうです。うーん、「今回、今回、うーん、「は AIの作文能力と」、これは前の文とつながっ ています。		原文「今回はAIの作文能力と、それがもたら すものについて解説していきます。」で、「につい て」の「に」が抜けている。
383					うん。	
384			Je res, umm, zmožnost tega dela od umetne inteligence AI, umm, それがもたらすもの, to, to je, たらす, umm, bom preverila.	実際に、うーん、AIのこの作業ができる能力 であり、うーん、「それがもたらすもの」これ、こ れは、「もたらす」、うーん、確認します。		
385					うん。	
386			「もたらす」をコピーしてjisho.orgで検索す る。]spet kopiram v slovar, aha, pomeni prinesti, umm, torej トレと発音する]が 解説する, umm, torej, umm, それが torej to, umm, o tem, da prinese stvari,	「もたらす」をコピーしてjisho.orgで検索す る。]また辞書にコピーします。ああ、もたらす という意味です。つまり、「それ【トレと発音す る】が解説する」、うーん、つまり、うーん、「そ れが」つまり、それ、うーん、物をもたらすこ とについて。		
387					うん。	
388			解説 je pa razložiti in pomeni, da bomo razlo žili, umm, o temu, pač prinese se navezuje potem o tej stvari, umm, zmožnosti umetne inteligence o pisanju teh del.	そして、「解説」は解説という意味で、これにつ いて解説するという、つまり、もたらすはこの、 AIの文章を書ける能力とつながっています。		
389					うん。	
390			Uf.	はあ【溜息】。		
391					うわあ。	
392			[笑う。]umm.	[笑う。]うーん。		
393					続きましょう。	
394	人工知能「AI」について		Tako je, naslednji naslov, umm, 人工知能, umm, ne, 知能.	はい、次のタイトル、うーん、「人工知能」、うー ん、いいえ、「知能」。		
395					うん。	
396			Umm, 人[ジンと発音する] je človek in エ[コ ウと発音する] je delati, to pomeni, predvidevam, da je to človeško narejeno.	うーん、「人」[ジンと発音する]は人間、「エ」 [コウと発音する]は作る、おそらく人間が作っ たという意味だと思います。		
397					うん。	
398			In 知能 je, 知[チと発音する] je vedeti in 能 [ノウと発音する] je zmožnost, to pomeni pač inteligence, predvidevam, in ker je tudi v oklepaju AI.	そして、「知能」は、「知」[チと発音する]は知 る、「能」[ノウと発音する]は能力。これは知 能という意味だと思います。カッコに「AI」と書 いてありますから。		
399					うん。	
400			Umetna inteligenca je verjetno samo prevod.	人工知能はたぶんただの翻訳です。		
401					うん。	
402	そもそもAIとは？		In について, o tem govori naslednji odstavek. Umm, そもそもAIとは, torej そもそも je, umm, umm, [笑う。]kako prevesti,	そして、「について」は次の段落のテーマを指 しています。うーん「そもそもAIとは」、「そも そも」はうーん、うーん。[笑う。]なんと訳せばい いか。		
403					[笑う。]	
404	「Artificial Intelligence」の略であり、コンピューター上で人間のよう な知的な活動をさせることを目的にした技術です。		V smislu kaj je umetna inteligenca. Umm, Artificial intelligenceの略であり, umm, to pomeni, umm, 略 je okrajšava, torej o okrajš avi artificial intelligence, umetne inteligence, umm, コンピュータ上で, na računalniku, 人間 のような, umm, to moram preveriti.	AIとは何かという意味です。うーん、 「Artificial Intelligence」の略でありうーん、 これは、うーん、「略」は省略、つまり、 Artificial Intelligence, AIの省略について、うー ん、「コンピューター上で」、コンピューターで、 「人間のような」、うーん、これ「知的な」は 確認します。		
405					うん。	
406			Ker je vedeti in, kako bi rekla, pridevnik, umm, verjetno ne, to[「知的」をコピーしてjisho.orgで 検索する]。大丈夫[パソコンに向かってつぶ やく]?	知るという意味で、何と言えはいいでしょ うか。形容詞、うーん、たぶんですね、これ「知 的」をコピーしてjisho.orgで検索する]。大丈夫 [パソコンに向かってつぶやく]?		
407					おや。	
408			遅い。	「遅い」。		
409					遅いね。	
410			うん。何ですか。	「うん。何ですか」。		
411					どうしたのかしら。【数秒待つ。】電波は？	
412			Je, samo, a,	つながっています。ただ、あ。		
413					はい？あ。	
414			Zdaj je? 長い。	今は？「長い」。		
415					大丈夫大丈夫。もう一回。	

416		Še enkrat bom.	もう一度。		
417				うん。	
418		[息をのむ。] ojoj.	[息をのむ。] あら。		
419				うん、別の「ページ」は？全くダメかな。	
420		Ne, ostalo dela.	いいえ、他のは大丈夫です。		
421				このページだけでですか。	
422		Umm, mogoče, umm, mogoče bo.	んん、もしかしたら、うーん、もしかしたらいけるかも。		
423				Googleとか。	
424		To dela, mogoče.	動いている、かもしれません。		
425				でなければここにもインターネットがあるので、	
426		[息をのんで笑う。] Ok saj lahko tudi tukaj.	[息をのんで笑う。] まあ、ここでもいいです。		
427				こういうこともありますね。	
428		Ja.	はい。		
429				読む時にインターネットがなくて[笑う]、	
430		Takrat[笑う] Umm.	その時[笑う]。うーん。		
431				必要なら、	
432		Ne, saj, oh!	いいえ、おっ。		
433				あ、今はちゃんと表示していますか。	
434		Dela.	表示しています。		
435				よし。	
436		Mislím da. Aha, ok, mi je našlo potem 知的.	たぶん。あ、はい、「知的」ができました。		
437				うん。	
438		Ki je intellectual in je pridevnik od inteligence.	これは知的[英語訳(intellectual)を言う]、知能[英語訳(intelligence)を言う]の形容詞です。		
439				うん。	
440		Umm na 活動, dejavnost.	うーん、「な活動」、活動。		
441				うん。	
442		Ki pomeni intelige, dejavnost inteligence, せされること, umm, 目的.	ち、知能の活動という意味です。「をされること」、うーん、「目的」。		
443				うん。	
444		Pač delamo s to dejavnostjo, namen, 目的 te dejavnosti je, da 技術, sposobnost,	この活動で、目的、この活動の「目的」は「技術」、技術。		
445				うん。	
446		Torej umm, umm, torej na kratko o umetni inteligenci, da nam, umm, sposobnost z namenom, umm, delovanja te inteligence, č loveške inteli, človeku podobne inteligence na računalniku.	つまり、うーん、うーん、AIについて短く言うと、このAIの活動を目的とした技術は、人間のち、「知能」、人間に似ているコンピュータ上の知能です。		
447				うん、何ですか。	
448		Umm, je ta artificial intelligence, umetna inteligence.	うーん、このartificial intelligenceです、AI。		
449				うんうん。	
450	身近なところだとスマホの音声認識や漢字変換(くせを覚える)などもAIのひとつです。	Potem to bom morala spet pogledati.	あと、これ「身近な」はまた調べなければなりません。		
451				うん。	
452		身[ミと発音する] je vsebina in 近[キンと発音する] je blizu.	「身」[ミと発音する]は身、「近」[キンと発音する]は近く。		
453				うん。	
454		Ampak za vsak slučaj preverim točen prevod [「身近」をコピーしてjisho.orgで検索する。] in mi najde 身近[ミチガと発音して、「近」のみをもう一度読んでチカと発音する]、	でも、念のため正確な訳を確認します。[「身近」をコピーしてjisho.orgで検索する。]「身近」[ミチガと発音して、「近」のみをもう一度読んでチカと発音する]。		
455				うん、身近。	
456		身近。	「身近」。		
457				うん。	
458		Kar pomeni blizu, pač da nam je znano.	身近、知っているという意味です。		
459				うん。	
460		身近なところだ, torej umm, prost, umm, neka stvar, prostor, stvar.	「身近なところだ」、つまり、うーん、とこ、うーん、何か、ところ、もの、		
461				うん。	
462		Neka točka, ki nam je blizu.	ある身近な点です。		
463				うん。	

464		とスマホ, predvidevam da je smartphone.	「とスマホ」, おそらくスマートフォン[英語で言う]のことです。		
465				うん。	
466		Torej pametni telefon.	つまり, スマートフォンです。		
467				うん。	
468		の音声[「音声」をセイコウと発音する], mislim da to je zvok in glas, pomeni, umm, ja, dejansko zvok.	「の音声」[「音声」をセイコウと発音する], これは音と声です。意味は, うーん, はい, 音という意味です。		
469				うん。	
470		Je, umm, umm, 認識.	[認識]は, うーん, うーん, 「認識」。		
471				うん。	
472		Je, umm, umm, prepoznati,	[認]というのは認める,		
473				うん。	
474		In, umm, umm, kako je, zavest,	そして, うーん, うーん, 何でしたっけ, 認識.		
475				うん。	
476		In bom pogledala, ampak predvidevam, da je pač prepoznati po zvoku.	調べますが, 音で認識するという意味だと思います。		
477				うん。	
478		Ja, in je dobilo 認識.	はい, 「認識」ができました。		
479				うん。	
480		Je prepoznati, umm, ya kanji in kanji, 変[ヘンと発音する], umm, verjetno 換[カクと発音する], umm, sprememba,	認識するという意味です。うーん, 「や」漢字と漢字, 「変」[ヘンと発音する], うーん, たぶん換[カクと発音する], うーん, 変化,		
481				うん。	
482		Ampak pogledam spet ta dva kanjija.	でも, この2つの漢字を調べます。		
483				うん。	
484		Ja mi najde 変換[ヘンカと発音する], sprememba.	はい, 見つけました, 「変換」[ヘンカと発音する], 変換です。		
485				うん。	
486		Umm 何を覚える v oklepaju je, da si to zapomnem.	うーん, 「何を覚える」, カッコの中のものをそれを覚えるという意味です。		
487				うん。	
488		Umm, なども in podobno もAIのひとつです, torej ena izmed, umm, umm, ひとつ pa izmed lastnosti verjetno, AIのひとつ,	うーん, 「など」, など, 「もAIのひとつです」, つまり, ひとつの, うーん, 「ひとつ」とは特質, たぶん「AIのひとつ」[の特質]。		
489				うん。	
490		Je, da se, da prepozna, umm, po zvoku, umm, tale pametni telefon v naši bližini,	[AIの特質のひとつ]は音で認識することです。この近くにあるスマホは,		
491				うん。	
492		Torej verjetno naš zvok, naš glas.	つまり, 私たちの音, 声[を認識する]。		
493				うん。	
494	自動操縦や自動変換などといった「自動～」と付くものは基本的にAIだと思って問題ありません。	Umm 自動 je samo, pač 自[ジと発音する] je jaz in 動[ドウと発音する] je premikati, torej da se samo premika, samo deluje.	うーん, 「自動」は自動, 「自」[ジと発音する]は自ら, 「動」[ドウと発音する]は動く, つまり, 自動的に動く, 働く。		
495				うん。	
496		To moram pa spet preveriti ta dva kanjija, [「操縦」をコピーしてjisho.orgで検索する] in mi je našlo 操縦.	この2つの漢字[「操縦」のこと]はまた調べないと, [「操縦」をコピーしてjisho.orgで検索する]「操縦」ができました。		
497				うん。	
498		Ki je, umm, delati s tem, umm, upravljati, torej samoupravljanje.	これは操縦する, 操る, つまり, 自動操縦です。		
499				うん。	
500		や自動変換[「変換」をヘンカと発音する], in sama sprememba, など, in podobno, といった「自動～」, torej ta 自動, ki vsebuje samoupravljanje in samospremembo, と付くものは基本的に, torej 付くもの priložena stvar je, umm, bistveno, umm, umetna inteligenca, AIだと思って問題ありません, torej ni vprašanje, ali je umetna inteligenca, ali je bistveno, bistvo umetne inteligence to, da 自動 pomeni samoupravljanje ali samospreminjanje.	「や自動変換」[「変換」をヘンカと発音する], そして, 自動変換, 「など」, など, 「といった「自動～」」, つまり, 自動操作と自動変換を含む「自動」, 「と付くものは基本的に」, 「付くもの」は付いたものです。うーん, 基本的に, うーん, AI, 「AIだと思って問題ありません」, AIの本質は「自動」つまり, 自動操縦や自動変換をするという意味で, 問題ありません。		
501				うんうん。	
502		AIの特徴.	「AIの特徴」。		
503				ちょっと待ってください。	
504		ん?	「ん」?		
505				この「自動操縦」ですね, 「自動操縦」はどういう意味ですか。	
506		Upravljanje.	操縦することです。		
507				うん, 何を。	
508		Umm,	うーん,		

509					たとえば、どの場面で自動操縦が見られますか。
510			Umm, recimo upravljanje stroja, da delaš nekaj s tem.	たとえば機械を操縦すること、それで何かやること。	
511					うん。
512			Tudi telefon lahko upravljaš, umm.	スマホも操縦できます、うーん。	
513					うん、これが自動操縦ですか。
514			Tako si jaz predstavljam.	私が思うには。	
515					うん。
516			Ja.	はい。	
517					「自動変換」は？
518			Tega pa ne razumem.	これは分かりません。	
519					うん。
520			Pač pomeni, da se samo spreminja.	自ら変換するということです。	
521					うん。
522			Ampak,	でも、	
523					何が変わりますか、何を変化しますか。
524			Umm, mogoče, da samo rase, da samo, umm, evolucija.	うーん、もしかしたら自ら成長すること、うーん、進化。	
525					うんうん。
526			Samo v sebe, da zna rasti kot človek.	自分から自分へ、人間のように成長すること。	
527					うんうん。
528			Na tak način,	そのように、	
529					うん。
530			Tako si jaz predstavljam.	私はそう想像します。	
531					そしてそれはAIですか。
532			Umm, ja.	うーん、はい。	
533					ね、「AI」と思っても問題ありません。
534			Ni problema, da si predstavljam, da je to AI.	それがAIだと思って問題ありません。	
535					それが、うんうん、その通りです。
536	AIの特徴は「学習すること」であり、先述の漢字変換はユーザーがよく使う単語変換を覚えて予測候補に出やすくしたり、自動操縦(オートパイロット)は危険を察知・認識してそれを回避しながら自らの判断で操縦します。	AIの特徴、torej AIの、od umetne inteligence, 特[トクと発音する] je posebno in 微[チヨウと発音する] je lastnost, umm, kot nek, ja lastnost, to pomeni posebnost umetne inteligence je 学習する, umm, 学[ガクと発音する] in 習[シュウと発音する] oboje pomeni se učiti, torej pomeni učenje, umm, ことであり torej posebnost umetne inteligence je samoučenje.	「AIの特徴」、つまり、「AIの」、AIの、「特」[トクと発音する]は特別、「微」[チヨウと発音する]は微、あるような、はい、特徴、AIの特徴とは、「学習する」、うーん、「学」[ガクと発音する]と「習」[シュウと発音する]は両方学ぶという意味なので、学習、うーん、「ことであり」、つまり、AIの特徴は自ら学習すること。		
537					うん。
538			Da se sama zna učiti, in, umm, 先述[センジュと発音する] je, 先[センと発音する] je prej.	自分で学ぶことができるという意味です。そして先述[センジュと発音する]は、「先」[センと発音する]は先。	
539					うん。
540			in 述[ジュと発音する] je kanji od 述べる.	「述」[ジュと発音する]は「述べる」の漢字。	
541					うん。
542			Kar pomeni povedati, tako verjetno prej povedano, umm, 漢字変換[ヘンカと発音する] to je sprememba kanjija, 是ユーザーが、ユーザー je uporabnik.	意味は述べる、たぶんこう、前に述べたこと、うーん、「漢字変換」[ヘンカと発音する]は漢字の変換、「はユーザーが」、「ユーザー」はユーザー。	
543					[笑う。]
544			[笑う。] がよく使う zelo uporabljeno, umm, 単語 besedišče, 変換[ヘンカと発音する] spet sprememba, を覚えて si zapomniti, umm, potem je pa, umm, 予測[ヨウガと発音する]? Moram pogledati.	[笑う。]「がよく使う」、よく使われている、うーん、「単語」は語彙、「変換」[ヘンカと発音する]はまた変換のこと、「を覚えて」は覚えること、うーん、そのあとは、うーん、「予測」[ヨウガと発音する]?調べます。	
545					うん。
546			Umm [「予測」をコピーしてjisho.orgで検索する], umm, 予測[ヨウソクと発音する] mi je našlo.	うーん、「[予測]をコピーしてjisho.orgで検索する。」うーん、「予測」[ヨウソクと発音する]が見つかりました。	
547					うん。
548			In sicer,	というのは、	
549					短いですね、予測。
550			予測。	「予測」。	
551					うん。
552			In je, pomeni predvideti.	これは、予測するという意味です。	
553					うん。

554		Umm, in to bo pa verjetno neko ohranjanje klimata, ker ta dva kanjija, en pomeni klimatično.	うーん、そして、これ[「候補」のこと]はたぶん気候を保つこととか、この2つの漢字は、1つは気候という意味で。		
555				うん、候補。	
556		[[「候補」をコピーしてjisho.orgで検索する。]na slo mi je pa 候補[コホウと発音する]、ki je pa kandidat, umm, ja, tekmovalac na tak način.	[[「候補」をコピーしてjisho.orgで検索する。]出てきたのは「候補」[コホウと発音する]。うーん、候補者、ある意味で競技者。		
557				うん。	
558		Umm, torej, umm, 予測候補 je predviden kandidat.	うーん、じゃ、うーん、「予測候補」とは予測の候補のことです。		
559				うん。	
560		に出やすく[ダヤスクと発音する]、verjetno 出[ダと発音する]je dati in やすく pomeni lahko.	[[「出やすく」[ダヤスクと発音する]、おそらく「出」[ダと発音する]はあげる。「やすく」は簡単にという意味です。		
561				うん。	
562		Pač je lahko dati, se lahko da.	つまり、あげることができる、あげやすいです。		
563				うん。	
564		Umm, 自動そう, kaj pomeni to.[自分自身に尋ね、「自動操縦」をコピーしてjisho.orgで検索する。]Aha, torej 自動操縦, torej samoupravljanje, オートパイロット, pomeni iz angleščine avtopilot, to pomeni isto kot 自動操縦.	うーん、「自動そう」、これはどういう意味ですか。[自分自身に尋ね、「自動操縦」をコピーしてjisho.orgで検索する。]ああ、つまり、「自動操縦」、自動操縦、「オートパイロット」、この言葉は英語から来て、「自動操縦」と同じように、オートパイロットという意味です。		
565				うん。	
566		を危険[テキストでは「を」ではなく「は」である]、tole sta oba glagola[[「漢字」と「動詞」を間違える] za nevarnost, umm, potem je pa verjetno 察知[マツシと発音する] ali nekaj podobnega, ker je spet vedeti, ker je tudi naprej 認識 potrditi.	[[「を危険」[テキストでは「を」ではなく「は」である]、これは両方危険を指す動詞「漢字」と「動詞」を間違える]で、うーん、あとはたぶん「察知」[マツシと発音する]とかだと思いません。また知[という字]が出てくるので、そして、次に「認識」があるので。		
567				うん。	
568		[[「察知」をコピーしてjisho.orgで検索する。]察知 in je zaznati, torej zaznati in 認識 potrditi, prepoznati, して, それを, 回[カイと発音する] je večkrat.	[[「察知」をコピーしてjisho.orgで検索する。]は察知という意味です。つまり、察知と「認識」認める、認識する。「して、それを」、「回」は数回の意味で、		
569				うん。	
570		In to[「避」のこと] je verjetno, to se mi zdi da je se izmahniti, ampak bom pogledala, kaj ta dva kanjija skupaj pomenita. [[「回避」をコピーしてjisho.orgで検索する。]回避, pomeni pač se izogniti. Umm 回, 回避, 回避しながら, to pomeni, da medtem ko se izogiba, 自ら[ミズラと発音する]、umm, 自ら?	そして、これ[「避」のこと]はたぶん、これは避けるという意味だと思いますが、この2つの漢字の意味を調べます。[[「回避」をコピーしてjisho.orgで検索する。]「回避」、回避するという意味です。うーん、「かい」、回避、回避しながら、これは回避しながらという意味です。「自ら[ミズラと発音する]」、うーん、「自ら」?		
571				うん。	
572		Umm, to[「自らの」のこと] je moje, の判断, umm, odločitev se mi zdi.	うーん、これ[「自らの」のこと]は私の、「の判断」、うーん、判断だと思います。		
573				うん。	
574		で操縦します[ソウジュンと発音する]、 upravljamo.	[[「で操縦します」[ソウジュンと発音する]、[私たちが]操縦します。		
575				うん。	
576		Torej, kje je zdaj, tukaj, kot je bilo prej povedano, umm, ta, umm, sprememba kanjijev je za, umm, in sprememba besedišča, ki ga uporabniki zelo uporabljajo, umm, si ju zapomne in te predvidene kandidate z lahkoto da na izbiro in, umm, s tem je nevarnost, da ta avtopilot, samoupravljanje, bo prepoznal in, umm, kako.[数秒間無言。]	では、どこでしたっけ。ここ、先に述べた通り、うーん、この、うーん、漢字の変換は、うーん、そしてユーザーがよく使う語彙[単語]の変換は[AIが]覚えて、予測候補を簡単に選択としてあげる。そして、うーん、これでこのオートパイロット、自動操縦が[対象は不明]認識するという危険が生じて、そして、うーん、どうやって。[数秒間無言。]		
577				「察知認識」、ここでしたよね。	
578		はい、Umm, in to, umm, kako naj, prepoznavnost, ko se izogiba, medtem ko se izogiba tej prepoznavnosti, bo samoupravljala naše odločitve.	[[「はい」、うーん、これ、どうやって、うーん、認識、[AIが]回避するときに、認識を回避しながら、私たちの判断を自ら操縦します。		
579				うん。	
580		Pač da bo umetna inteligenca sama, umm, sama izvajala odločitve namesto nas.	つまり、AIが自ら、うーん、私たちの代わりに判断を下すということです。		
581				うん。	
582		Obstaja ta nevarnost.	その危険があります。		
583				うん。	
584		Je?	いいですか。		
585				うん。	
586		[笑う。] umm, potem je naslednji.	[笑う。]うーん、次は、		
587				えーと、ここまでは大丈夫ですか、分かりましたか。	
588		Mhm.	はい。		
589				うん。	
590	AIにできること	Umm, AIにできること, Torej, umm, za umetno inteligenco, できること je pa kaj je zmožna narediti.	うーん、「AIにできること」、つまり、うーん、AIにとって、「できること」は何ができるかということです。		
591				うん。	

592		最もわかりやすい言い方をすれば、「人間では時間がかかる作業を一瞬で、しかも正確に行える」ということでしょう。	Torej kaj je umetna inteligenca zmožna narediti. Umm,最も[モトモと発音する] predvsem, umm, 分かりやすい言い方をすれば,	つまり, AIにできることです。うーん, 「最も」[モトモと発音する]。特に, うーん, 「分かりやすい言い方をすれば」,	
593				うん。	
594			Torej 分かりやすい lahko razumljiva in 言い方 izražanje, umm, をすれば, če naredi, če dela, umm, predvsem če dela lahko razumljivo izražanje, umm, 人間では時間がかかる作業, torej za ljudi, ki čas traja, umm, to je en in trenutek, mislim, da je 一瞬,	つまり, 「分かりやすい」は分かりやすい, そして, 「言い方」は言い方, うーん, 「をすれば」, [AIを主語とする]をすれば, をしていたら, うーん, 特に分かりやすい言い方をすれば, うーん, 「人間では時間がかかる作業」, つまり, 人間にとって, 「時間がかかる」, 時間のかかる, 「作業」, 人間にとって時間のかかる作業, 「を」, うーん, これは一瞬間, 「一瞬」だと思います。	
595				うん。	
596			Torej v enem trenutku, umm, しかも in se bolj 正確, umm, torej 正[セイと発音する] je pravilno in 確[カクと発音する] je potrditi,	つまり, 一瞬で, うーん, 「しかも」, しかも, 「正確」, 「正[セイと発音する]」は正しい, 「確」[カクと発音する]は確かめる。	
597				うん。	
598			Torej pravilno 行える, umm, torej v enem trenutku, kar bi za ljudi dolgo časa trajalo, in e pravilno izvaja, ということでしょう, torej aili, ali je to, umm, to vprašanje, da ob lahko razumljivi izgovorjavi naredi v trenutku in pravilno to, kar za ljudi traja veliko časa.	つまり, 正確に, 「行える」, うーん, つまり, 人間にとって時間のかかる[作業]を一瞬で, しかも, 正確に行います。そして, 「ということでしょう」, つまり, これは, うーん, 分かりやすく言うと, 一瞬で人間にとって時間のかかる[作業]を正確に行うという質問[読んだ文章のこと]です。	
599				うん。	
600		1. 正確性の求められる作業(審査員, データ入力など)	Umm, prvo je 正確性, torej pravilnost, を求められる作業, torej za delo, ki zahteva pravilnost, natančnost,	うーん, まずは「正確性」, 正確性, 「を求められる作業」, つまり, 正確性, 精度を求める作業,	
601				うん。	
602			Umm, potem je, umm, ker ima na koncu kanji za človeka in za raziskavo, je to neko delo, en uslužbenec v raziskavah.	うーん, あとは, うーん, 最後に人を指す漢字[「員」のこと], そして, 審査が書いてあるので, これはある仕事, 審査に関する仕事をやる従業員です。	
603				うん。	
604			Umm, bom preverila za vsak slušaj vse tri kanjije skupaj.[「審査員」をコピーしてjisho.orgで検索する。]	うーん, 念のためこの3つの漢字を確認します。[「審査員」をコピーしてjisho.orgで検索する。]	
605				jisho.orgですか。	
606			Tako, 審査員, in mi je našlo, umm, sodnika.	そうです。「審査員」, これは, うーん, 判事です。	
607				うん。	
608			Umm, in drugi je データにゆう, 入力,	うーん, そして2つ目は「データにゆう, 入力」。	
609				うん。	
610			Torej vpis デ[日本語で「データ」と言おうとしたが, 途中でスロベニア語に変える] podatkov, torej za taka dela, kjer je natančnost zahtevana, pravilnost. Potem pod drugo je,	つまり, 「デ」[日本語で「データ」と言おうとしたが, 途中でスロベニア語に変える], データ, つまり, 精度, 正確性が求められる作業です。2番目は,	
611					「審査員」は何でしたっけ。
612			Umm, sodnik?	うーん, 判事ですか。	
613					判事と言いましたよね。
614			Ja.	はい。	
615					どんな場面の判事ですか。
616			Po mojem je ob testih, ko pregledujejo in ocenjujejo teste.	テスト, テストのチェックや採点をする時だと思います。	
617					うん。たとえば学校とかですか。
618			Tudi v šoli.	学校もです。	
619					うん。
620			Pa na tekmah,	あとは試合。	
621					うん。
622			Mogoče tudi na sodiščih.	裁判所でもそうかもしれません。	
623					うん。
624		2. マニュアル化しやすい作業(受付, 案内など)	マニュアル化, umm, マニュアル je manual, torej ročno, 化 je da se, umm, spremeni v ročno delo, や, やすい作業[「しやすい」の「し」を除く], torej lahko delo, kar je 受付, torej, umm, kako je 受付, umm, recepcija,	「マニュアル化」, うーん, 「マニュアル」はマニュアル[英語訳(manual)で言う], つまり, マニュアルです。「化」を加えて, うーん, 手仕事という意味になって, 「や, やすい作業」[「しやすい」の「し」を除く], やすい作業, たとえば「受付」, うーん, 「受付」は何でしたっけ, うーん, 受け付け。	
625					うん。
626		3. PC運用において高い情報処理能力が求められる作業(システム関連, 情報収入など)[「情報収集」であると思われるが, 元の文章に「情報収入」と書かれている]	In 案内, torej voditi, torej za vodilce in za recepcijo, ki imajo lahka in ročna dela. Potem je PC, je osebni računalnik,	そして, 「案内」, 案内, つまり, やりやすい仕事のガイドや受付係です。あとは「PC」はパソコン,	
627					うん。
628			To moram pa preveriti.	これ[「運用」のこと]は調べます。	
629					うん。
630			To pomeni nesti in delati.[「運用」の漢字の意味をそれぞれ説明する。]	これは運ぶと用いるという意味です。[「運用」の漢字の意味をそれぞれ説明する。]	
631					うん。

672		Umm, されているものもあり, torej tudi z upravljanjem umetne inteligence, umm, upravljanje ne za ljudi, ampak za umetno inteligenco.	うーん,「されているものもあり」,つまり, AIを操縦することで, うーん, 人の操縦ではなくて AIの操縦です。		
673				うん。	
674		10数年後, torej 10, potem je številka, pač s tetje, in leto, potem, torej čez 10 let.	「10数年後」,つまり, 10, あとは数, 数える, そして, 年, 後, つまり, 10年後。		
675				うん。	
676		Umm には人間の職を「職」をシキと発音する, umm, to mislim, da je 奪う。	うーん,「には人間の職を」「職」をシキと発音する, これ「奪う」は「奪う」と思います。		
677				うん。	
678		Kar pomeni vzeti.	奪うという意味です。		
679				うん。	
680		Ampak za vsak slučaj preverim na jisho.org. 「奪う」をコピーしてjisho.orgで検索する。] ki pomeni to, prevzeti nekaj, kot ukrasti, の可能性も, umm, torej je tudi možnost, potem to 「示唆」のこと] moram pa spet preveriti, pomeni kazati in še en knjigi「示唆」をコピーしてjisho.orgで検索する。], in je 示唆, ki pomeni predlagati, namiguje, torej, umm, je možnost namigovanja, da bo čez 10 let, umm, 人間の職「職」をシキと発音する] torej, umm, ne, 人間の職「職」をジュウと発音する], torej delo,	でも, 念のためjisho.orgで確認します。【「奪う」をコピーしてjisho.orgで検索する。】意味は, 何かをとる, 奪うことです。「の可能性も」, うーん, 可能性もありますという意味です。これ「示唆」のことはまた調べなければ, 示すともう一つの漢字, 【「示唆」をコピーしてjisho.orgで検索する。】「示唆」で, つまり, 示唆の可能性もあります。10年後「人間の職」【「職」をシキと発音する】], つまり, うーん, いえ, 「人間の職」【「職」をジュウと発音する】], つまり, 職。		
681				うん。	
682		Da bo ukradla človeško delo,	人間の職を奪う【可能性がある】。		
683				何がですか。	
684		Ta umetna inteligenca.	このAIが。		
685				何が? はい。	
686		Inteligenca, ki bo upravljala stvari namesto ljudi.	人間の代わりにものを操縦する知能です。		
687				うん。	
688		Ki so jih do sedaj ljudje upravljali.	今まで人間が操縦してきた【もの】。		
689				うん。	
690	例えばソフトバンクのAIロボットのPepper(ペッパー)やiPhoneのSiriなど, AIとの対話は既に実現しています。	Bo? Umm, たとえば, na primer, ソフトバンク torej Softbank, のAIロボットのPepper, torej ta robot umetne inteligence, ki se imenuje Pepper od Softbanka, umm, ペッパー, aha, samo katakana verzija angleškega imena.	いいですか。「たとえば」, たとえば「ソフトバンク」, つまり, ソフトバンク, 「のAIロボットのPepper」, つまり, このPepperというソフトバンクのAIロボット, うーん, 「ペッパー」, あ, ただの英語の名前のカタカナです。		
691				うん【笑う】。	
692		やiPhoneのSiriなど, in Siri od iPhone-a, umm, in drugi, AIと対話【対話の意味に少し迷う?】	「やiPhoneのSiriなど」, iPhoneのSiriなど, 「AIと対話」【対話の意味に少し迷う?】		
693				うん。	
694		Predvidevam, ampak moram preveriti, kaj skupaj pomenita, pomeni pogovor in nasprotovati, ampak skupaj je 「対話」をコピーしてjisho.orgで検索する。] 対話 je dialog, torej dialog z umetno inteligenco, umm, はすでに実現しています【「実現」をジゲンと発音する】], torej, umm, na primer s temi Pepper robot z umetno inteligenco Softbanka in Siri od iPhone-a, s temi umetnimi inteligencami se lahko sedaj, umm, izvaja dialog, pogovor, na primer, 実現 je pa postati resničnost, postati sedanjost.	たぶん, でも, 一緒の意味を調べなければ, これは話と対するという意味ですが, 一緒だと【「対話」をコピーしてjisho.orgで検索する。】「対話」は対話です, つまり, AIとの対話, うーん, 「はすでに実現しています」【「実現」をジゲンと発音する】], つまり, うーん, たとえばこのソフトバンクのAIのあるPepperというロボットやiPhoneのSiri, 今はこのAIと, うーん, 対話ができます, 会話, たとえば, 「実現」は現実になる, 現在になるという意味です。		
695				うん。	
696		Ker 実【ジツと発音する】 je, umm, resnica,	「実【ジツと発音する】」は, うーん, 実で,		
697				うん。	
698		In 現【ゲンと発音する】 je, umm, prikazati.	「現【ゲンと発音する】」は, うーん, 現れる。		
699				うん。	
700		Ampak skupaj pomeni postati, 【「実現」をコピーしてjisho.orgで検索する。】 pač ja, je postalo res.	でも, 一緒だとなるという意味になります。【「実現」をコピーしてjisho.orgで検索する。】はい, 実現したという意味です。		
701				うん。	
702	ヒューマンエラーのような不測の事態も起こらないため, 最終的には人間が管理していますが正確性を求められる分野においてAIの活躍はほぼ約束されています。	Da sedaj lahko imamo z umetno inteligenco pogovore. Umm ヒューマンエラー, torej, umm, človeške napake, のような不測【「不測」をフウソクと発音する?】	今はAIと対話ができます, うーん, 「ヒューマンエラー」, つまり, うーん, ヒューマンエラー, 「のような不測」【「不測」をフウソクと発音する?】		
703				うん。	
704		To【「不測」のこと】 moram spet preveriti, to je nekaj negativnega zaradi 不,	これ【「不測」のこと】はまた調べなければ, 「不」がついているので何か否定的な,		
705				【笑う。】	
706		【笑う。】 aha, nepričakovano mi je našlo, ponesreči, の事態, umm, torej 事【ジと発音する】 je stvar in 懸【タイと発音する】 je situacija recimo, ampak skupaj pomeni【「事態」をコピーしてjisho.orgで検索する。】 moram preveriti, je ja, situacija.	【笑う。】ああ, 不測が出てきました, 誤って, 「の事態」, うーん, つまり, 「事【ジと発音する】」は事, 「懸【タイと発音する】」は事態ですが, 一緒だと【「事態」をコピーしてjisho.orgで検索する。】確認しないと, はい, 事態です。		
707				うん。	

708		Verjetno situacija stvari, 起こらないため [「も」を「を」と読み間違える], torej da se ne, umm, da se ne nepredvidljivo zgodi situacija, v kateri so človeške napake, umm, 最終的, torej 最終 je zadnje, [には人間が管理, torej neka vrsta upravljanja, してはいますが, kot zadnje, kar ljudje upravljajo, umm, 正確性を求 められる分野, torej 分野 je, umm, področje, na katerem zahtevajo pravilnost, natančnost, ljudje, ki nekaj upravljajo, ki so zadolženi za nekaj, [において, v tem, AIの], umm, 活躍[[「活 動」と読み間違える], predvidevam, to je dejavnost.	おそらく物の事態, 「起こらないため」[「も を」と読み間違える], うーん, ヒューマンエ ラーのある事態が不測的に起こらないため。 うーん, 「最終的」, つまり, 「最終」は最終。 「には人間が管理」, つまり, ある種の管理。 「してはいますが」, 人間が最終的に管理する のは, うーん, 「正確性を求められる分野」, 「分野」は, うーん, 分野。そこで正確性, 精度 を求めている, 管理する人間[が求めている], 何かの責任を持つ人間, 「において」, [に おいて, 「AIの」], うーん, 「活躍」[[「活動」と読 み間違える]だと思っています。これは活躍です。		
709				うん。	
710		はほぼ, ほぼ je, ほぼ約束されています, umm, 約束 je zaobljuba, ほぼ pa predvidevam, da je nekaj, da je, [[「ほぼ」をコ ピーしてjisho.orgで検索する] ほぼ, umm, ほ ぼ mi je našlo na približno, torej skoraj,	「はほぼ」, 「ほぼ」は, 「ほぼ約束されていま す」, うーん, 「約束」は約束, 「ほぼ」はおそら く何か, [[「ほぼ」をコピーしてjisho.orgで検索 する]「ほぼ」は大体, つまり, ほぼです。		
711				うん。	
712		Zaobljubljena je dejavnost, da ne bi prišlo do teh napak, umm, človeške, umm, človeškega moterja, do situacije človeškega motenja, je približno zaobljubljeno z dejavnostjo umetne inteligence na področju, kjer je zahtevana natančnost v upravljanju stvari.	作業が約束されて, このエラー, うーん, 人間 の, ヒューマンエラーのある事態が起こらない ため, 物を操縦する正確性が求められる分野 でAIの作業がほぼ約束されています。		
713				うん。	
714		[笑う。]	[笑う。]		
715				こちらへんまでにしましょうか。	
716		はい。	はい。		
717				うん。	
718		はい[笑う]。	はい[笑う]。		
719				はい。	